楽しいと思える学校、充実感のある学校、誇りに思える学校を目指して

さかえ

学校便り　NO．１８
令和８年１０月２８日

帯広市立栄小学校
文責　校長　新川　和範

今年度の重点：児童の願いに寄り添い、力を引き出す教育の実現　　合い言葉：みんなヒーローになろう

グラウンドに児童の声が帰ってきました



当初10月いっぱいの工期を予定していましたグラウンド改良工事ですが、業者の皆様のご尽力もあり、10月7日（水）から使用できるようになりました。

使えるようになるのを待ちわびてきた児童が、早速、中休みにグラウンドに向かい楽しんでいる様子が見られました。



霜が降り、リンクの準備が始まる頃までの期間、仲間と楽しみながら使用してほしいと思っています。

６年生のメニュー採用



今年度も６年生が考えた給食のメニューが採用されました。採用されたのは、6年1組でグランプリに選ばれた「えいようたくさん！あいじょうたっぷり！ちゅうかスープ」と6年2組でグランプリに選ばれた「なめことしらたまのさいきょう!!みそしる」です。



グランプリに選ばれたそれぞれのグループは、給食前の全校放送で、メニューについて説明していました。

その後、全校でおいしくいただきました。



学習発表会開催

10月23日（金）に学習発表会を開催しました。

保護者の皆様には、特別時間割の期間中、お子さんの体調管理をはじめとした、ご理解・ご協力をいただきましてありがとうございました。おかげさまで、どの学年も児童一人一人全員が主役となっていたと感じております。



当日ご来校いただいた来賓の皆様からは、「大変すばらしい発表会でしたね。」とお褒めの言葉をいただきました。具体的には「児童が落ち着いて意欲的に発表していたこと」、「入退場は担任の先生の指示のもと静かに行動していたこと」などをお話しになりました。さらに日頃の学習の成果を発表していることから、「各学年での授業を通じて、どのように成長していくのかが良くわかる内容だった」、「6年生の最高学年としての発表が圧巻だった」とのご感想もいただきました。児童が退場する際には、来賓の皆様からねぎらいの拍手もいただきました。



今回の学習発表会の成果を踏まえ、今後も児童一人一人の自己肯定感や自己有用感を伸ばしていけるよう、全職員で教育活動に取り組んでまいります。

中学生来校



10月15日（木）に、帯広第一中学校の生徒がインターンシップ（職場体験）のため来校しました。

中学生2名は、将来子どもと関わる仕事に就きたいという思いをもち、卒業した本校に来てくれたそうです。



朝、研修を行った後、3年生の教室に行き、1日児童と過ごしました。

今回の体験をきっかけに、是非、高等学校のインターンシップでも、本校に再び来校してほしいと感じました。

2名の中学生の皆さん、本当にお疲れ様でした。

１学期の評価について⑤

前回に引き続き、1学期末に行いました保護者の学校評価アンケートの集計結果のうち、記述式回答（『合い言葉「みんなヒーローになろう」を踏まえ、今後お子様にどのようなところを伸ばしてほしいか』についてお書きください）の部分についてお知らせいたします。

合い言葉「みんなヒーローになろう」は、栄小児童の自己肯定感や自己有用感を高める取組の一環として、昨年度から全校の合い言葉として採用しております。

ヒーローというと、えてして“最強”、“主人公”、“大活躍”と、スポットライトが常にあたっている人物をイメージされる方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、最近のヒーローは、かつてのヒーローのような圧倒的な力で全てを解決する存在ではなく、弱さや葛藤を持ちながらも、共感し支え合って前進する身近な存在へと変化しています。例えば、竈門炭治郎（『鬼滅の刃』）や虎杖悠仁（『呪術廻戦』）は、真面目で人当たりが良く、葛藤しながら仲間や弱い立場の人と連帯するヒーローとして描かれています。

そのようなことを踏まえ、本校でいう“ヒーロー”は、自分自身を高めていこうとする人、仲間のために協力し働ける人のことを指しています。具体的には、

◎あいさつ、へんじがしっかりできるヒーロー
◎まわりを安心させ、勇気づけるヒーロー
◎仲間のために動けるヒーロー
◎良いこと悪いことの判断ができるヒーロー
◎むずかしいことにも立ち向かうヒーロー
◎さいごまでやりとげるヒーロー
◎失敗してもあきらめないヒーロー

を例に挙げ、日々の生活を送るよう伝えているところです。

そのような点にご理解を賜りながら、引き続きご家庭でも話題にしていただき、声かけをお願いいたします。

◎合い言葉「みんなヒーローになろう」を踏まえ、今後お子様にどのようなところを伸ばしてほしいか

○「自分もヒーローなのだ、主役なのだ」と理解してもらいたいです
○どんな人にでも手を差し伸べる人になってほしい
○意見をハッキリ伝えられるようになってほしい
○頑張る事が楽しいと感じられる気持ち
○人の気持ちはもちろん、自分の気持ちも大切に出来るようになってほしい　○自主性
○相手の話を聞く　○人の役に立とうとするところ
○精神的に強くなってほしい　○挑戦する力
○明るく素直なところ　○相手を思いやる心
○インプットした事をアウトプットする
○困っている人に、声を掛けられるようになってほしい
○勉強が楽しいと思う気持ちを変わらずもち、これからも伸ばしてほしい
○人に自分の言葉で伝える力を伸ばしてほしい
○萎縮することなくのびのび自分を大切に、周りを大切に育ってほしい
○何にでもチャレンジしてやり遂げる子になって欲しい
○困っている人がいたら積極的に助けて欲しい
○自ら立候補して、委員会などで活躍してほしい
○自分で考え行動し自身をより高めていってほしい
○自ら考え学んだり行動したりする力をつけてほしい
○困っている人がいたら積極的に助けて欲しい
○『ヒーロー』と言うテーマが微妙…みんなのヒーローじゃなくても努力している子や縁の下で活躍をする子もいる。目立たなくても一人一人の才能を開花できるような環境づくりをお願いします
○我が子自身本人がヒーローになれる事は少ないので、ヒーローになった友達を祝福できる子どもになって欲しいです
○相手の気持ちを察するところ
○自分だけでなく、人の気持ちを考えて行動が出来たらいいなと思います
○ありがとうをみんなに言えるところ
○他者に対して思いやりを持って接し、困っている人を見かけたら迷わず助ける心…粘り強く取り組む姿勢を伸ばして欲しいなと思います
○元気良く仲間思いな子になってほしい
○自分で考え判断することを恐れない心
○学ぶこと、遊ぶことを面倒くさがらず、積極的に取り組む姿勢を伸ばしていただきたいです
○自主性、挑戦する気持ちを伸ばしてほしい
○勉強も遊びもスポーツも継続できる力
○積極性、自主性　○学習面　○相手を思いやる行動
○皆に平等で、仲間思いでいてほしい
○仲間や友達と共に助け合える精神、自制心を伸ばしてほしいです。　○探究心　○勉強と人を思いやる心
○何かに自発的に取り組むような、チャレンジ精神をお友達と一緒に伸ばして頂きたいと考えます…家や、1人でいるときにできない何かを学校で経験させていただく機会があるといいと思いました

さかえHERO's大活躍!!

今回も校外活動（少年団や習い事、各種大会等）における児童の活躍を紹介いたします。今後も紹介可能な大会やコンクール等の結果につきまして、賞状やメダル、トロフィー等、お子さんに持たせていただければと考えております。校長室で記念撮影後、学校便りで紹介するとともに体育館の入口に掲示させていただきます。



